

令和7年上野原市議会 第1回定例会席上 市長あいさつ
令和7年2月26日

本日ここに、令和7年上野原市議会第1回定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、公私ともにお忙しい中、ご参集いただきまして、心より厚くお礼申し上げます。

本定例会の開会に当たり、提出いたしました議案につきまして、その概要を説明するとともに、市政運営の状況について申し上げ、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げたいと存じます。

さて、私が上野原市政を担うこととなってからもうじき4年、1期目の任期満了を迎えようとしておりますが、先の上野原市長選挙におきまして、多くの市民の皆様から温かいご支援をいただき、再選を果たすことができました。大変光栄であると同時に、その責任の重さに改めて身の引き締まる思いであります。

私がこれまで市政運営に邁進することができたのは、ひとえに議員各位を始め市民の皆様のご支援・ご協力の賜であり、心より感謝申し上げます。

今後も、市民の皆様のご負託に応えられるよう、これまでに培ってきた経験を活かし、また、市民一人ひとりの声にしっかり耳を傾けながら、市政運営に全力を尽くす所存でございます。

2期目の市政運営にあたりましては、本定例会において議案として提出させていただきました「上野原市総合戦略」となる「上野原市みらい戦略2025－2030」を私の基本方針として、取り組みを進めて参りたいと考えております。

この度の総合戦略につきましては、その策定過程で、市民アンケートやワークショップ、ヒアリングといった手法を通じて、多くの市民、団体、事業者などの意見を伺い、戦略として反映させていただいております。また、本戦略においては、本市が目指すべき将来像として「地域ビジョン」を掲げており、本市の重要課題である少子化・人口減少対策のみならず、その側面から、上野原市ブランドメッセージ「まだ、知らないだけ。上野原」を具現化し、実現を図る戦略としております。まだ知られていない上野原のヒト・モノ・コトを「未知の資源＝ポテンシャル」と捉え活用し、市内外の多様な主体がつながりあいながら上野原の課題解決を行っていくこと、そして、それに重ねて市内外に挑戦と応援の循環をつくっていくこと、更には、未知なる未来をも挑戦という価値へ変えていくことを目指しております。

こうした地域ビジョンの実現を目指すにあたっては、3つの基本戦略を設けるとともに、本戦略において優先度が高く、重点的かつ横断的に実施する3つのプロジェクトからなる重点プログラムに取り組んで参ります。

はじめに、3つの基本戦略について申しますと、1つ目は、「子育て・教育の循環」であります。結婚・出産・子育ての安心と楽しみを共有し、人が出会い・磨かれ・育つ未来循環をつくって参ります。

2つ目は、「人、仕事の循環」であります。上野原の自然環境や立地特性を活かした、新たなチャレンジを応援し、新たな人の流れを生む共創循環をつくって参ります。

3つ目は、「暮らしの循環」であります。誰ひとり取り残されることなく、誰もが幸

せを実感できる安全・安心循環をつくって参ります。

また、3つのプロジェクトからなる重点プログラムとしては、まず第1に「まだ、知らないだけプロジェクト」を掲げております。上野原市の魅力や資源、市の取り組みなどが市内外に十分知られていないといった課題を受け、戦略的な広報・情報発信の強化、シティープロモーションの推進を図って参ります。

第2に「関係人口創出プロジェクト」を掲げております。上野原市の最大の強みとして都市部へのアクセス性の良さが挙げられます。この都市部へのアクセス性の良さと市内の各地域が様々な特色ある個性を持つといった特徴を活かし、上野原市との多様な関わり方を創出するとともに、移住定住を促進して参ります。

第3に「官民連携・人材育成プロジェクト」を掲げております。この戦略を推進していくためには、多様な人材が必要です。官民での連携を図りながらスピード感を持って地域課題の解決を図るとともに、職員についても、より主体的で課題解決能力のある人材となるようその育成に取り組んで参ります。

今後の市政運営にあたっては、改めて人口の減少、特に生産年齢人口の減少という事態を正面から受け止めた上で、人口が減少しても経済が成長する上野原市という地方社会をしっかりと機能させるための「人を大切にする地方」、「楽しく働き、楽しく暮らせる地方」の実現を目指して参りたいと存じます。

なお、より具体的な市政方針につきましては、次の第2回定例会にて述べさせていただきますと考えております。

議員各位におかれましては、引き続き格別のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。